

1 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる

2 評価の観点及びその趣旨

関心・意欲・態度

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。

話す・聞く能力

目的や場面に応じ、適切に話したり聞いたり話し合ったりして、自分の考えを豊かにしている。

書く能力

相手や目的、意図に応じ、筋道を立てて文章を書いて、自分の考えを豊かにしている。

読む能力

目的や意図に応じ、様々な文章を読んだり読書に親しんだりして、自分の考えを豊かにしている。

知識・理解

伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて速く書いている。

3 第2学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

4 指導計画・評価計画表

月	指導計画	評価規準	評価方法
6	見えないだけ（1時間） アイスプラネット（6時間） ○漢字の確認をしよう（1時間） ○要点を整理して聞き取る（1時間） 枕草子（4時間）	【関】 表現の特徴を生かし、工夫して朗読しようとしている。 【読】 表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方について、自分なりに感想をもっている。 【言】 作品中の語句の語感を捉え、自分なりにイメージを広げ、語彙を豊かにしている。 【書】 表現を工夫して詩を創作する。 【関】 作品に描かれた登場人物の気持ちを自分の経験を踏まえて想像しようとしている。 【読】 登場人物の言動を手がかりにして、人物の関係や心情の変化を捉えている。 【言】 登場人物の言動や心情を表す言葉に着目して、作品を読み進めている。 【言】 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【関】 情報を的確に聞き取るための工夫について考え、話の要点をメモしようとしている。 【話聞】 情報を的確に聞き取り、要点を押さえたメモを作成している。 【関】 「枕草子」の内容に興味をもち、朗読して内容を理解しようとしている。	・授業への意欲、発言、態度の観察 ・授業振り返りシートへの記入 ・授業でのワークシートへの取組 ・漢字テスト ・提出物 ・音読

7	熟語の構成（１時間） 生物が記録する科学 ーバイオロギングの可能性（４時間） ○漢字を確認しよう（１時間） 【書写】行書の書き方を学ぼう 点画の省略（２時間） 説明のしかたを工夫する（１時間） 【文法】動詞（３時間） 魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする（２時間） メディアと上手に付き合うために 著作権について知る（２時間） 類義語・対義語・多義語（２時間） 【書写】行書の書き方を学ぼう 筆順の変化（３時間） 短歌を味わう（２時間） 言葉を比べよう（１時間） 言葉の力（２時間） 【文法】形容詞（２時間） 世界で一番の贈り物 二年一組のお薦め三十五冊（１時間）	【読】作者の季節に対するものの見方や考え方について、感想をまとめている。 【書】自分なりの季節感が効果的に伝わるように、構成や描写を工夫して書いている。 【関】熟語の構成について興味をもち、理解しようとしている。 【言】熟語の主な構成について理解している。 【読】文章の構成や筆者の考えに着目して、説明のしかたの特徴を捉えている。 【言】語句や熟語の意味を的確に捉え、発表や話し合いの中で正確に使うことができています。 【言】問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【関】行書の部分の書き方を覚え、同じ部分をもつ他の漢字に生かそうとしている。 【技】点画の方向や形の変化、点画の連続・省略、筆順の変化に注意して、漢字を書いている。 【関】事柄が効果的に伝わるように、説明のしかたを自分なりに工夫しようとしている。 【書】説明する事柄の特徴を明確にし、適切な説明のしかたを選んで書いている。 【言】目的に応じて文章の形態や展開が変わることに気づいている。 【言】自立語の働きについて理解し、練習問題をおおむね正確に解いている。 【関】話し合いに進んで参加し、目的を意識したプレゼンテーションを行おうとしている。 【話聞】目的や聞き手に合わせて、伝えたいことが明確な構成、展開を作ることができている。 【言】相手や目的に応じて、話の構成や話し方を工夫している。 【関】メディアとの付き合い方について考えたり、情報を集めたりしようとしている。 【読】メディアの特徴を理解し、活用のしかたについて、自分の考えをまとめている。 【言】メディアによって文章の形態や展開が違うことに気づいている。 【関】身近にある類義語・対義語・多義語などに興味をもち、語彙を増やそうとしている。 【言】類義語・対義語・多義語の概念について、具体例に当てはめて理解している。 【関】短歌の形式や表現に興味をもち、その世界に親しもうとしている。 【関】行書の部分の書き方を覚え、同じ部分をもつ他の漢字に生かそうとしている。 【技】点画の方向や形の変化、点画の連続・省略、筆順の変化に注意して、漢字を書いている。 【読】短歌を語句の使い方や描写の工夫に触れながら読み味わい、感想をまとめている。 【書】短歌の形式や表現の工夫を参考にし、体験や思いが伝わるように短歌を作っている。 【言】短歌に使われている言葉の語感の豊かさに気づき、作品を解釈している。 【関】似た気持ちを表す言葉に興味をもって、意味や用例を調べようとしている。 【書】選んだ言葉の微妙な違いが伝わるように、物語にまとめている。 【関】自分や周囲の人の言葉の使い方を見つめ直し、自らの言語生活を振り返っている。 【読】挿話と筆者の考えとの関連を捉え、言葉と人との関わりについて自分の考えをまとめている。 【言】イメージを喚起する筆者の言葉の選び方や、比喩の巧みに学ぼうとしている。 【言】自立語の働きについて理解し、練習問題をおおむね正確に解いている。 【関】物語に興味をもって読み、さらにさまざまな本を読み広げようとしている。 【読】作品に込められたメッセージについて、自分の考えをもち、友達と話し合っている。	・創作文 ・スピーチ ・期末考査 ・書写
9	盆土産（３時間）	【関】登場人物の人柄や心情を表現に即して読み取ろうとしている。 【読】構成や登場人物の言動の描写に着目し、人柄や心情を捉えながら作品を読み味わっている。 【言】方言が、作品に優しさや温かさをもたらしていることに気がついている。	・授業への意欲、発言、態度の観察 ・授業振り返りシー

10	○漢字を確認しよう（１時間） 字のない葉書（４時間） 推敲して適切な文章に直す（１時間） 手紙を書く（２時間） モアイは語る―地球の未来（４時間）	【言】問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【関】表現に込められた語り手（「私」）の思いを捉えようとしている。 【読】言動や様子を表す表現に着目して、父親の人柄や心情を読み取っている。 【言】作品中の語彙の豊かさや美しさに気づき、自分の表現に生かそうとしている。 【関】言葉の使い方や表記のしかたに関心を持ち、誤りを直そうとしている。 【書】四つの観点を理解して、誤りがない文章にしている。 【関】手紙の特徴や書式に関心を持ち、相手に応じて書こうとしている。 【書】形式を整え、推敲して相手や目的に応じて手紙を書いている。 【言】時候の挨拶や「拝啓」「敬具」など手紙特有の言葉や、敬語を適切に使っている。 【関】筆者が主張していることを読み取ろうとしている。 【読】論の展開を押さえて、筆者の主張を捉えている。 【言】環境問題を論じるときに使われる漢語を本文から探し、自分の文章の中で使っている。 【関】敬語の働きや種類について関心を持ち、理解しようとしている。 【言】敬語の働きについて理解している。	トへの記入 ・授業でのワークシートへの取組 ・漢字テスト ・提出物 ・中間考査 ・提出物
11	同訓異字や同音異義語（１時間） 【文法】形容動詞（２時間） 扇の的―「平家物語」から（４時間） 仁和寺にある法師―「徒然草」から（３時間） 漢詩の風景（３時間）	【言】文脈や言葉の意味に注意して、同じ訓をもつ漢字、同音異義語の使い分けができています。 【言】自立語の働きについて理解し、練習問題をおおむね正確に解いている。 【関】作品独特の調子やリズムを意識して朗読しようとしている。 【読】登場人物の言動から心情を考え、価値観などに対して、自分なりの考えをもっている。 【言】朗読を通して作品独特の言葉の調子やリズムに慣れ、作品のよさを見つけている。 【関】作品独特の調子やリズムを意識して朗読しようとしている。 【読】登場人物の行動を通して述べられた作者の考えについて自分の考えをもち、述べている。 【言】朗読を通して作品独特の調子やリズムに慣れ、作品のよさを見つけている。 【関】漢詩特有の言葉遣いや調子に関心を持ち、描かれた内容を考えようとしている。 【読】それぞれの漢詩に歌われている季節、情景や心情を、表現に基づいて想像し、まとめている。 【言】朗読を通して作品独特の調子やリズムに慣れ、作品のよさを見つけている。	・音読
	君は「最後の晩餐」を知っているか（４時間） ○漢字を確認しよう（１時間） 【書写】行書にかなをまじえて書こう（３時間） 【文法】副詞・連体詞（２時間） 相手の考えを踏まえて発言する（１時間） 話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする（２時間） 意見文の説得力を考える（１時間）	【関】評論という文章について興味をもち、筆者の絵画の見方について読み取ろうとしている。 【読】語句や表現の工夫に着目して読み、筆者のものの見方や考え方を読み取っている。 【言】評論が対象の価値などについて自分の考えを伝えるための文章であることを理解している。 【言】問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【関】楷書に調和する仮名と比較し、行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。 【技】行書と仮名が調和するように、筆脈と筆圧の変化を意識した行書的な筆使いで書いている。 【言】自立語の働きについて理解し、練習問題をおおむね正確に解いている。 【関】相手の考えをしっかりと聞き、発言しようとしている。 【話聞】相手の考えを踏まえて自分の意見を述べている。 【関】テーマについて自分の考えをまとめ、討論に参加し、さらに考えを深めようとしている。 【話聞】異なる立場を想定して考えをまとめ、説得力のある根拠を述べている。 【関】説得力の必要性を理解し、そのための工夫を文章の中から見つけようとしている。 【書】意見を効果的に伝えるための要素として、根拠と反論に対する考えの示し方を理解している。	・期末考査 ・提出物 ・書写 ・ディスカッション

12	根拠を明確にして意見を書こう 意見文を書く（４時間） 落葉松（１時間） 【文法】接続詞・感動詞（２時間） 小さな町のラジオ発 —臨時災害放送局「りんごラジオ」（１時間） 【書写】書き初め（４時間）	【言】相手や目的に応じて、話や文章の形態に違いがあることを理解している。 【関】自分の立場や意見が伝わるように、根拠を明らかにして書こうとしている。 【書】自分の立場を決め、根拠を明らかにして、構成を工夫して文章を書いている。 【言】意見文にふさわしい論の展開や、語句の使い方などに気づいている。 【読】表現のしかたや、作者のものの見方や感じ方について自分なりの感想をもっている。 【言】反復など、表現技法について理解している。 【言】自立語の働きについて理解し、練習問題をおおむね正確に解いている。 【関】文章に描かれた状況を思い浮かべながら読み、本への関心を広げようとしている。 【読】筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもっている。 【関】これまでに学習したことを生かして書くことに、興味をもって取り組んでいる。 【技】楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で書いている。	・書写
1	走れメロス（７時間） 【文法】助詞・助動詞（３時間） 表現のしかたを工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く（４時間） 方言と共通語（２時間） 科学はあなたの中にある（３時間）	【関】登場人物の行動や考え方について自分の考えをもとうとしている。 【読】登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた考え方と自分の考えを比べている。 【言】使われている語句について関心をもち、語彙を豊かにしている。 【言】自立語の働きについて理解し、練習問題をおおむね正確に解いている。 【関】自分の体験の中から題材を探し、表現を工夫しようとしている。 【書】場面の様子や気持ちの変化が効果的に伝わるように描写や構成を工夫して書いている。 【言】情景や心情を効果的に伝えるために、語句の選択や文章表現に注意して、文章を書いている。 【関】方言や共通語に関心をもち、それぞれの使われ方について考えようとしている。 【言】方言と共通語の役割や特徴について理解している。 【関】自分の知識や体験と照らし合わせながら、文章を読み、考えを深めようとしている。 【読】事例と主張の関係を捉えて、筆者の見方や考え方を理解している。 【言】文章中で使われている抽象的な語句の意味を必要に応じて調べ、自分でも使おうとしている。	・授業への意欲、発言、態度の観察 ・授業振り返りシートへの記入 ・授業でのワークシートへの取組 ・漢字テスト ・提出物 ・学年末考査
2	○漢字を確認しよう（１時間） 送り仮名（１時間） 【書写】楷書と行書の使い分け（３時間）	【関】楷書と行書のどちらで書くのが適しているか、主体的に考えようとしている。 【技】楷書と行書の特性を理解し、目的や必要に応じて適切な書体を選択し、書き分けている。	
3	五重塔はなぜ倒れないか（４時間） 一年間の学びを振り返ろう（１時間） 【書写】季節のしおり 硬筆で書こう（３時間） 鍵（２時間）	【関】文章に興味をもって読み、さらにさまざまな本を読み広げようとしている。 【読】語句や表現の工夫に着目して読み、筆者のものの見方や考え方を読み取っている。 【関】１年間の学習について関心をもち振り返り、より伝わりやすい発表にしようとしている。 【書】わかりやすい構成や説明の工夫をして報告書を書いている。 【言】話し言葉と書き言葉の違いを理解し、それぞれにふさわしい表現や展開を意識している。 【関】楷書に調和する仮名と比較し、行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。 【技】行書と仮名が調和するように、筆脈と筆圧の変化を意識した行書的な筆使いで書いている。 【関】詩の内容に関心をもち、作者の思いを考えようとしている。 【読】作者が思い描いているイメージや思いを読み取り、自分の考えをもつ。	